

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生涯学習文化財課  
 担当名: 生涯学習・社会教育担当  
 内線: 6914 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B78	生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト		一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	生涯学習推進事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	教育基本法第3条・第13条、社会教育法第3条、生涯学習振興法第3条		宣言項目			
					分野施策	030624 家庭・地域の教育力の向上		
1 事業の概要			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 子ども大学推進モデル事業 2,239千円 子ども大学の成果であるネットワークの構築などの「よさ」を生かして、子ども大学の組織・内容を充実させ、異年齢交流や外国人交流等のモデル事業の実施を支援し、これらのモデル事業を各市町村等へ広める。 イ 子ども大学継続支援事業 583千円 各地域の子ども大学が引き続き実施され、子供の学び力や生きる力がより一層育まれるように、継続して支援する。 (2) 事業計画 ア 異年齢交流モデル事業実施の支援 異年齢交流を図るために、対象年齢を広げた子ども大学の実施を支援する。 イ 外国人交流モデル事業実施の支援 地域の特性を生かし、外国人と交流する子ども大学の実施を支援する。 ウ 子ども大学継続支援事業の実施 子ども大学の表彰を行うなど、子ども大学の継続・発展を支援する。 (3) 事業効果 ア 既存の子ども大学のよさが各市町村内で共有され、子ども大学の組織・内容を充実させることができる。 イ 生涯学習の推進に多くの人材が関わることで、企画運営力が身に付いた人材の育成につながり、学びの循環が機能した社会への進展を図ることができる。 (4) 補正予算の概要 ア 子ども大学推進モデル事業 印刷製本費及び会場使用料の節約による減額、補助金が当初の見込みを下回ったことによる減額 イ 子ども大学継続支援事業 会場使用料の節約による減額					
「子ども大学」を推進したことで、各地域に大学、NP0、企業、市町村等のネットワークを構築するとともに、自立した運営ができるようになった。このような「よさ」を生かし、組織と内容を充実させた子ども大学のモデル事業の実施を支援し、広めていくことにより、各地域で生涯学習を担う人材の育成につなげる。 (1) 子ども大学推進モデル事業 △623千円 ・印刷製本費の節約による減 ・会場使用料の節約による減 ・補助金が見込みを下回ったことによる減 (2) 子ども大学継続支援事業 △80千円 ・会場使用料の節約による減								
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△703						△703	2,119
現計額	2,822						2,822	